



標準付属品



オプション



EMC規格
適合品

EMC規格について: Electromagnetic Compatibilityの略で電磁両立性のこと。機器が電磁妨害を与えず、かつ受けたとしても影響を受けないことをクリアした機器が受けられる認証。本製品はJIS T 0601-1-2に適合しています。

販売名: **フィジオ アクティブ HV2**
 一般的名称: 低周波治療器 (JMDNコード: 35372000) 型式: PHV-2
 JANコード: 4562189050604 医療機器認証番号: 307AFBZX00023000
 【使用目的、効能又は効果】経皮的に鎮痛及び筋萎縮改善に用いられる神経及び筋刺激を行うこと。

定 格 電 源	本体: AC100V ※ バッテリー: リチウムイオン電池: DC7.4V 1,250mAh ACアダプター: AC100-240V / 50-60Hz
消 費 電 力	30W (電源入力30VA)
出 力 周 波 数	HV: 0.5~200Hz MCR: 0.1~500Hz
最 大 出 力	HV: 300V (p-p) MCR: 800 μ A ※ 500 Ω 負荷時
出 力 チ ャ ン ネ ル 数	2チャンネル
治 療 タ イ マ	HV: 1~60分 MCR: 1~480分 (8時間)
本 体 寸 法	W83 × H53 × D185 (mm)
本 体 重 量	355g ※ バッテリー含む



総合リハビリテーション機器メーカーとして
 酒井医療は1881年の創業以来、「エビデンス(根拠)にもとづくリハビリテーション手法」の確立に向けて高品質、高精度なリハビリテーション機器の開発を行っています。



本社ショールーム Tokyo Lab

スポーツ選手・団体のコンディショニングをサポートしています。
 オフィシャルサプライヤー(敬称略/50音順)
 ・大迫傑
 ・菊池雄星
 ・桐生祥秀
 ・早田ひな
 ・アルビレックス新潟
 ・川崎プレイサントース
 ・日本車いすバスケットボール連盟
 ・日本身体障害者アーチェリー連盟
 ・日本ソフトボール協会
 ・日本ブラインドサッカー協会
 ・日本ボッチャ協会

High-voltage + Microcurrent

PHYSIO ACTIVE HV2

フィジオ アクティブ HV2

一般的名称: 低周波治療器 (JMDNコード: 35372000)
 医療機器認証番号: 307AFBZX00023000
 管理医療機器(クラスII) / 特定保守管理医療機器



酒井医療株式会社

東京都新宿区山吹町358-6 〒162-0801
 www.sakaimed.co.jp

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 札幌営業所 (北海道) | Tel: 011-780-5570 |
| 盛岡営業所 (青森・秋田・岩手) | Tel: 019-656-5336 |
| 仙台営業所 (宮城・山形・福島) | Tel: 022-390-6840 |
| 新潟営業所 (新潟) | Tel: 025-278-4777 |
| 長野営業所 (山梨・長野) | Tel: 0263-40-5014 |
| 埼玉営業所 (埼玉・群馬・栃木) | Tel: 048-662-4560 |
| 千葉営業所 (千葉・茨城) | Tel: 047-497-3691 |
| 東京営業所 (東京) | Tel: 03-5227-5779 |
| 東京営業所 (フィジオ) | Tel: 03-5227-5776 |
| 横浜営業所 (神奈川・静岡) | Tel: 045-590-5485 |
| 名古屋営業所 (愛知・岐阜・三重) | Tel: 052-263-9867 |
| 金沢営業所 (石川・富山・福井) | Tel: 076-292-1161 |
| 関西営業所 (大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山) | Tel: 06-6386-3545 |
| 神戸営業所 (兵庫) | Tel: 078-579-6236 |
| 広島営業所 (広島・岡山・山口・鳥取・島根) | Tel: 082-830-0420 |
| 高松営業所 (香川・徳島・愛媛・高知) | Tel: 087-865-0715 |
| 福岡営業所 (福岡・長崎・大分・佐賀・熊本・沖縄) | Tel: 092-588-9331 |
| 鹿児島営業所 (鹿児島・宮崎) | Tel: 099-219-7250 |

取扱店

HV + MCR

2つの機能を
コンパクトに搭載

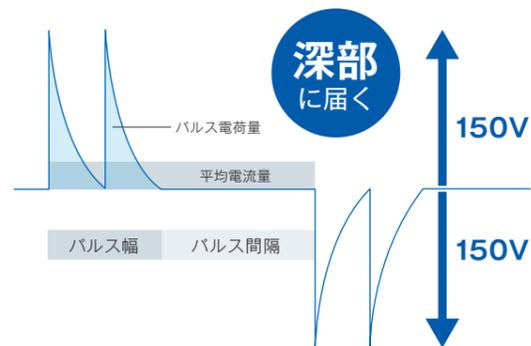
鎮痛と治癒促進。ふたつの機能をひとつの治療器で叶えられたら。
多くのセラピストが思い描く理想を、持ち運びやすいサイズで実現。
鎮痛効果が期待されるハイボルテージ電流に加え、新たに筋損傷などの
治癒促進を促すMCR(微弱電流)を搭載。
様々なシーンに合わせて鎮痛から機能改善、
治癒促進まで1台でカバーします。

痛みを止めて、治癒を促進。
場所を選ばず、いつでも治療できる。

ハイボルテージ治療 HV 鎮痛

瞬間的に高電圧の電流を流すことで、皮膚抵抗を最小限に抑え、刺激感の少ない深部到達を可能にしたHi-Voltage(ハイボルテージ)電流刺激療法。国内最小クラスのコンパクトサイズでありながらハイパワー*を実現。疼痛の軽減に使用できます。

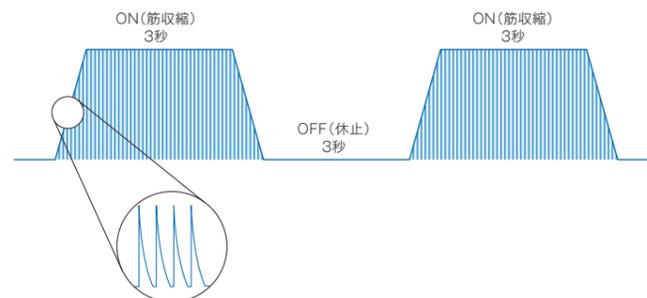
* Peak to Peak 300V: +極150V、-極150V



※ 波形はイメージ図です

ハイボルテージEMS EMS 機能改善 筋力トレーニング

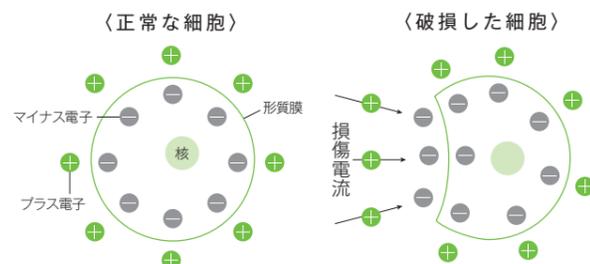
ハイボルテージ波形を用いたEMSモードは、ON(筋収縮)とOFF(休止)を設定できるため、筋ポンプによる血流増大によってリハビリテーションでの筋萎縮改善や、筋力トレーニングに使用できます。



※ 波形はイメージ図です

マイクロカレント治療 MCR 治癒促進

微弱電流を使って細胞レベルで治癒を促進するMCR(マイクロカレント)を搭載。筋肉や神経の再生、痛みの軽減、炎症の抑制などに用いられ、特に自然治癒力を高めることが期待されています。



コストと手間をかけない。
粘着パッド不要の
デルタスティック。



1点集中 + 3点広範囲の選択

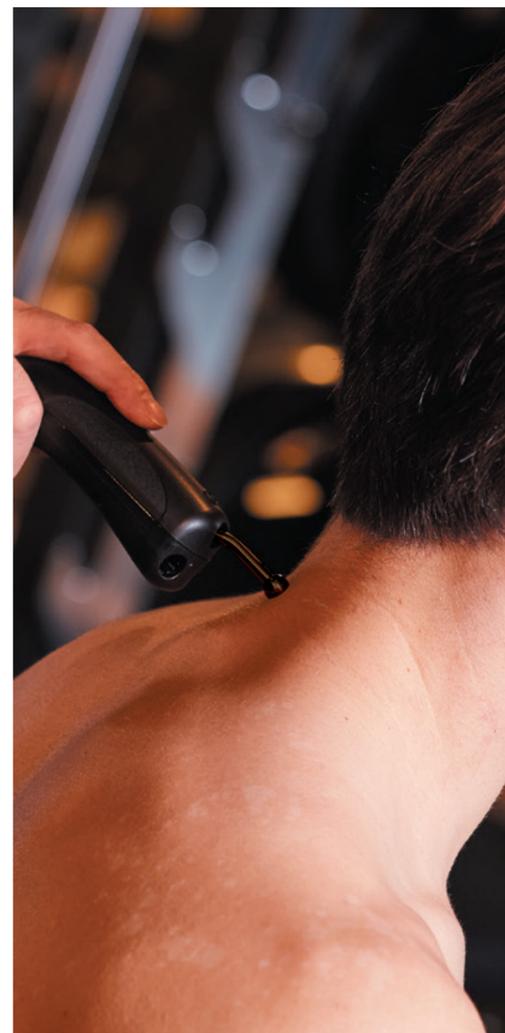
従来の1点通電に加えて、ピン電極3本を取り付け、3点で通電することで、より広範囲の通電が可能に。



従来のピン電極1本の使用方法：対極に粘着パッドを貼って使用します。モーターポイントの素早い探索と患部への的確なアプローチ、集中治療が可能。



新しいピン電極3本の使用方法：3点で通電することで、より広範囲なアプローチが可能です。電極2本で使用すればY字スティックとしても使用可能。



粘着パッド不要

電極を複数差した場合、1本が粘着パッドの役割を果たすため、粘着パッドを使わずに通電することができます。粘着パッドを準備する手間が省け、コスト面のメリットもあります。



洗えて清潔

外れにくい

ゲルを使わずに球電極が使えます

シームレスな球電極カバー

水に濡らすだけで通電可能な電極カバー

治療中にも外れにくい、縫い目のないフィット感抜群の電極カバーです。縫い目をなくすことで、心地よい肌触りと、均一な出力を実現しました。また、銀糸を配合しているため通電率もアップ*。洗浄・取替え可能で、いつも清潔に保てるため感染症対策にも役立ちます。

*従来の生地と比較



NEW

ゲル不要

臨床の流れを止めない操作性。
タッチパネル・プリセットプログラム搭載。

Hi-Voltage



Prog. 1 鎮痛 Pain

急なアクシデントによる強い痛みに対して、主に太い神経線維に作用し、痛みの伝達を遮断する、ゲートコントロールプログラムです。

Prog. 2 機能改善 Muscle

筋刺激によるPNF(固有受容性神経筋促進法)を行うマッサージプログラムです。脳血管、運動器疾患のリハビリテーションに。

Prog. 3~5 Manual ①~③

オリジナル設定が保存可能。

Manual① 短縮による筋ポンプで、鎮痛から機能改善までカバー。

Manual② 関節部の鎮痛。

Manual③ HV波形によるEMSモードで筋収縮によるNMES、廃用性萎縮(筋萎縮改善)に。

※工場出荷時は上記プログラムが設定されています。



MCR



Prog. 1 鎮痛/治癒促進 Synergy

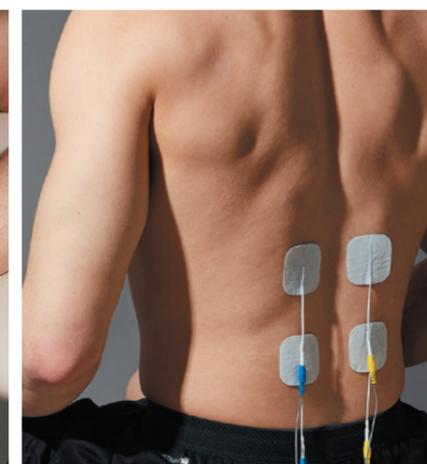
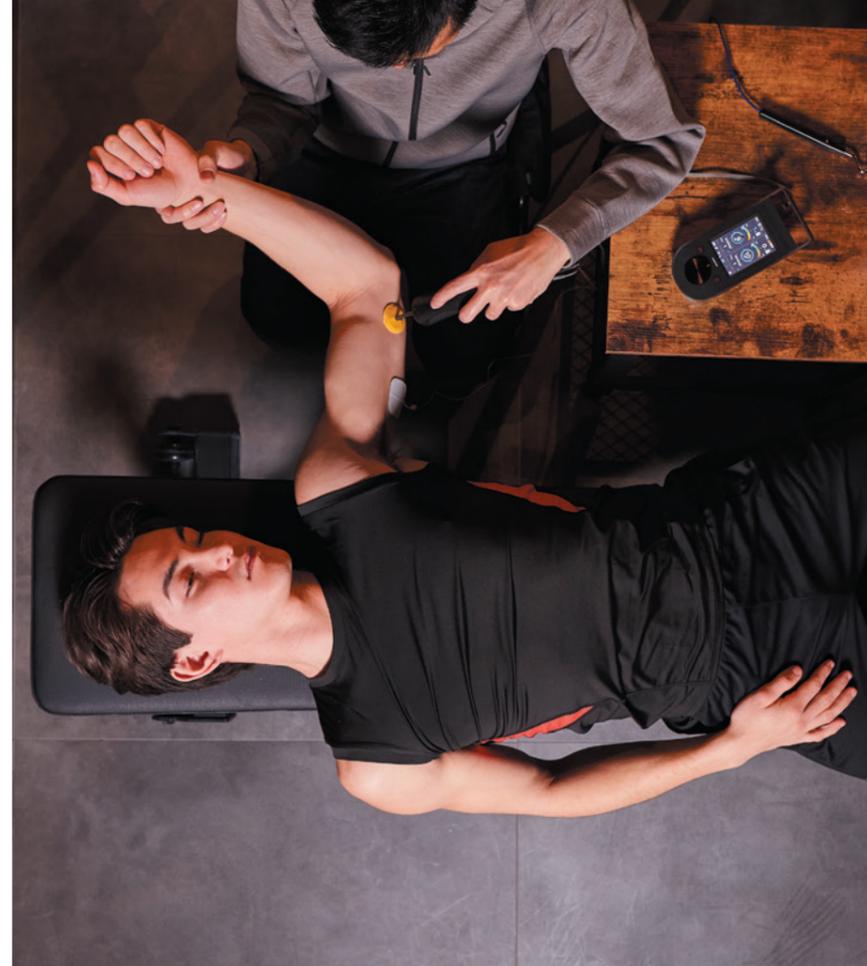
高出力(300~800 μ A)による鎮痛~治癒促進を行います。あらかじめ皮膚抵抗を考慮した設定であるため、プリセットでそのまま使用でき、急なアクシデントによる痛みに対し、神経線維(筋シナジー)に作用する、最も汎用性が高いモードです。

Prog. 2 治癒促進/鎮痛 Healing

生体電流に近い低出力(30~70 μ A)で、治癒促進~鎮痛を行います。皮膚表面の痛みを感じやすい場合に使用します。

Prog. 3 Manual

マイクロカレントの出力数値(30~800 μ A)を設定可能。



設定時間の短縮に
ドライブモード機能

上記のプリセットプログラムを組み合わせ、オリジナルメニューを作成し、順番に流すことができるモードです。いつもの治療メニューがすぐ呼び出せます。



ユーザー要望に応える機能

広範囲に素早く通電させたい

ローラー導子

先端がコロコロと回るローラー導子は大きな筋肉部位(背中や大腿部)の通電が効率よく行えます。



電源が無い場所で長時間使用したい

4時間駆動バッテリー

屋外など、コンセントによる電源供給ができない場所でも4時間駆動。院内で充電しながら使用することもできます。

※ 使用条件: CH1/2, Prog.2, 粘着パッド, 100Vで同時出力(抵抗値:500Ω)
※ バッテリー残量ゼロからフル充電まで約2時間

AC/DC
両対応



ケースに入れたまま使用したい

セミハードケース

標準で付属しているケースは持ち運びはもちろん、本体を収納したまま使用が可能です。



コードが断線しているのか確認したい

MCRは体感がないため、コードが断線してしまうと出力がきちんと行われているかわかりません。断線チェック機能でコードの状態を調べることができます。



出力ボタンを押し続けるのが疲れる

出力ボタンを一度押したら出力を継続し、もう一度押すまで止まらないAT(オート)と、押し続ける間だけ出力するMT(マニュアル)の2つのモードを搭載。

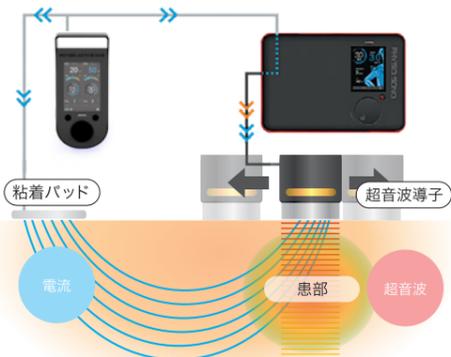
きちんと出力されているか確認したい

MCRは微弱な電流で、体感がないため、出力中は音でお知らせします。AT(オート)モード時は指を離しても出力が分かれます。(音はOFFにすることもできます)

超音波 + 電流同時出力の「時短を実現する」 コンビネーション治療



超音波治療器 フィジオン
医療機器認証番号: 230ALBZX00001000

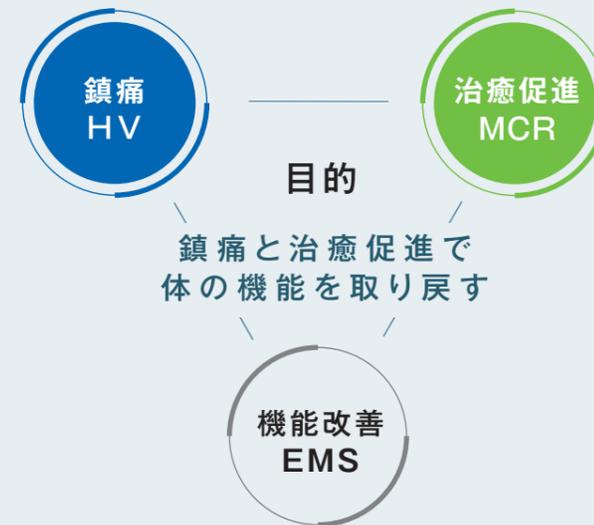


超音波治療器フィジオンに出力コードを接続するだけで、超音波と同時にハイボルテージ電流出力が可能です。

治療に必要な電流とは

様々な電流治療機器、モードが存在する中で、電流療法に求められる目的は何でしょうか？

それは「まず痛みをやわらげ、患者の体を動かせるようにして、運動療法との両輪で体の機能を取り戻すこと」です。そのために必要な電流は、TENSのような皮膚表面ではなく、深部に必要な電流刺激を届けられるハイボルテージ(以下HV)です。TENSは筋肉の表層、皮膚表面の治療を目的とする場合には十分な効果を発揮しますが、より深部への電流アプローチが必要な治療の場合には、皮膚表面が痛く、電流値を上げることができません。1960年代、スポーツトレーニングに応用し、アスリートの筋力向上に大きく貢献した長い歴史を持つEMSといった電流刺激と比べると、HVは2000年代以降、より精密なパルス制御が可能になったことで生まれた「鎮痛効果」に特化した新しい電流刺激療法です。人間が感じられる(知覚)よりもはるかに短い瞬間に高電圧の電流を2回出力することで、皮膚にピリピリとした不快な痛みを感じることなく、深部へ治療に必要な電流刺激を届けることができるため、症状によっては数分程度で鎮痛効果があり、整形外科、接骨院といった施設だけでなく、近年ではスポーツチームでも広く使用されています。



マイクロレント

MCR (微弱電流治療) に必要な電流量とは

生体細胞には通常50mV前後の電位があることが1900年以前から知られていました。電位は外面が+、内面が-に帯電した状態で、細胞が傷つけられると外面が電氣的に-になり、周辺の正常部から損傷した部位に「約10μA~30μA」の微弱な電流が流れ込みます。これらの現象は1840年にMatteucciらにより正確に計測されており、損傷電流と呼ばれています。これに近しい電気を流して治癒促進を図るのが微弱電流療法です。

除痛や皮下軟組織への使用の場合、体内に10~30μAの微弱電流を取り入れるためには皮膚抵抗を考慮する必要があるため、実際の出力値は「300~750μA」での使用が一般的です。



MCR(Microcurrent)以外にもMENS(Microcurrent Electrical Neuromuscular Stimulation)と略されることもあります。

※参照: "The Effects of Electric Currents on ATP Generation, Protein Synthesis, and Membrane Transport in Rat Skin" 1982 Nov-Dec NGOK CHENG, M.D.

酒井医療では現場で役立つ実践的な動画コンテンツを配信中

Learning STUDIO

<https://www.sakaimed.co.jp/member/>

現場で働くプロフェッショナルの方々のために、実践的なセミナーを開催しています。ぜひ、ご登録ください。

